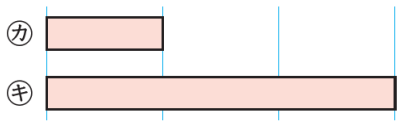
10 理想のシナリオと対象児童への手立て

理想のシナリオ	想定されるつまずき	つまずきに対する手立て
（ワークシートを配っておく。） T 今日はこのテープを使います。配りますね。 C 隣の人と違います。 C 色が違います。 C 長さも違います。 T 色は何色ですか。 C 赤です。 C 青です。 T 色が赤と青で違うのだね。長さはどれくらい違いますか。隣の人と比べてみてください。 C （手元操作）		
C 赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの2つ分です。 C 僕のテープの長さは，〇〇さんのテープの長さの2倍です。 T 2つ分ということを算数の言葉で2倍と言えるのでしたね。よく覚えていましたね。	・倍であらわすことができない。	・既習事項を掲示することで思い出せるようにする。 ・2倍の数字を板書し，数値をはっきりさせる。
T どうして2倍と言えるのですか。前に出て説明してください。 C 1つ分，2つ分だからです。 C 2つ分は2倍と一緒だからです。 T 2つ分って，何が2つ分ですか。 C 青色のテープが2つ分で赤色のテープの長さになります。 C 青色のテープを赤色のテープに重ねてみると，青色のテープの1つ分，2つ分だから2倍です。	・説明ができない。	・実際にテープを提示し，青色のテープの2つ分の長さが赤色のテープの長さになっていることをテープを重ねて確認する。 ・既習事項を掲示することで思い出せるようにする。
T 青色のテープの長さをもとの長さにして考えたのですね。では，ワークシートに青色のテープの長さに線を引きましょう。 T みんなが言ったように赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの2倍でしたね。 ワークシートに書きましょう。 T みんなで言ってみましょう。 赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの2倍	・言葉の意味が分からない。	・もとの大きさを囲み，もとの大きさを明確にする。

です。 C　赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの2倍です。 T　では，隣の人と説明をしあいましょう。 隣の人は確認してあげてくださいね。グラウンド側の人からどうぞ。 C　赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの2倍です。（手元操作） T 隣の人は説明できていましたか。次は廊下側の人どうぞ。 C　赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの2倍です。（手元操作） T　隣の人は説明できていましたか。 T　では，赤色のテープの長さをもとの長さにして考えてみましょう。 （もとの長さ線を引く。） 青色のテープの長さは赤色のテープの長さの何分の一といえばよいですか。 C　半分です。 C　$\frac{1}{2}$です。 T　$\frac{1}{2}$とはどういうことでしたか。 C　半分におった2つ分の1つ分で$\frac{1}{2}$です。 T　こうですか。（等分しない。） C　違います。 C　2つに分けた長さが同じ長さにならないと $\frac{1}{2}$とは，言えないからです。 C　赤色のテープを折って半分にすると，青色のテープの長さになります。だから$\frac{1}{2}$です。 T　同じ長さに分けた1つ分のことを算数の言葉で$\frac{1}{2}$と言えるのでしたね。よく覚えていましたね。	・操作に時間がかかる ・分数で表すことができない。	・ペア活動にすることで，一緒に動かすことができるようにする。 ・既習事項を掲示することで思い出せるようにする。 ・$\frac{1}{2}$の数字を板書し，数値をはっきりさせる。 ・もとの大きさを明確にする。

ワークシートに書きましょう。 T　では，みんなで言ってみましょう。 青色のテープは，赤色のテープの$\frac{1}{2}$です。 C　青色のテープは，赤色のテープの$\frac{1}{2}$です。 T　隣の人と説明をしあいましょう。隣の人は確認してあげてくださいね。廊下側の人からどうぞ。 C　青色のテープは，赤色のテープの$\frac{1}{2}$です。（手元操作） T　隣の人は説明できていましたか？次はグラウンド側の人どうぞ。 C　青色のテープは，赤色のテープの$\frac{1}{2}$です。（手元操作） T　隣の人は説明できていましたか？ T　今日は，今まで学習した倍や分数を使ってテープの長さを表します。めあてを書きましょう。	・操作に時間がかかる。	・ペア活動にすることで，一緒に動かすことができるようにする。
ばいや分数をつかってテープの長さをあらわそう。 T　めあてを読みましょう。 T　㋒のテープの長さと㋓のテープの長さを比べて倍や分数で表すことができますか。 C　できます。（自力解決） T　では，一人でやってみましょう。 T　㋓のテープの長さは，㋒のテープの長さの何倍ですか。 T　もとの長さは何ですか。 C　㋒のテープの長さです。 T　そうですね。㋒のテープの長さに線はひけていますか。 ㋓のテープの長さは，㋒のテープの長さの何倍ですか。 C　4倍です。 T　前で説明してください。 C　㋒のテープが4つ分で㋓のテープの長さになるので4倍です。	・問題を解くことができない。	・具体物を用意し操作させて考える。 ・もとの長さを問い，問題を整理させる。

C　もとになる長さを，㋒のテープで考えました。 ㋓のテープの長さは，㋒のテープの長さの4倍です。 T　みんなも言ってみましょう。 C　㋓のテープの長さは，㋒のテープの長さの4倍です。 T　では，㋓のテープをもとの長さにして考えてみましょう。㋒のテープの長さは㋓のテープの長さの何分の一ですか。 C　㋓のテープを半分に半分におると，㋒のテープになります。だから$\frac{1}{4}$です。 C　㋒のテープの長さは㋓のテープの長さの$\frac{1}{4}$です。 どうしてかというと，㋓のテープを4つにわけた1つ分だからです。 T　みんなも言ってみましょう。 C　㋒のテープの長さは㋓のテープの長さの$\frac{1}{4}$です。 T　今日は，2つのテープを比べて，倍や分数を使って表しましたね。 C　もとの長さが変わると，倍や分数の表し方が変わりました。 T　よく気が付きましたね。では，今日のまとめをしましょう。 まとめ ・分数やばいをつかって長さをあらわすときは，もとの長さが大切。		
T　今日の考え方を使って練習問題を解きましょう。 れんしゅう問だい 長さがちがう2つのテープの長さをくらべました。  T　振り返りを書きましょう。	・練習問題を解くことができない。	・もとの大きさを明確にするように声をかける。 ・本時のワークシートを振り返りながら，一緒に問題を解く。

C もとの長さを変えると，長さの表し方が変わります。 C もとの長さが大切なことが分かりました。		